

平成28年度 二松学舎大学東アジア学術総合研究所 日本漢文教育研究推進室 公開講座

平成28年度日本漢文教育研究推進室が主催する特別講義等は、日本漢文学研究又は漢文文献の調査・整理に関心を持つ若手研究者及び書誌調査の専門技能者を育成する講座です。受講対象者は、学内外の大学院生及び院生レベルの若者を主とし、他に一般社会人等にも、講義あるいは講習等を通じて必要な基礎知識と技能を身につけていただくことを目的としています。

◆受講料： **無料** ◆対象者： 学生、研究者、教員、図書館員及び一般の方 ◆会場： 本学九段校舎

◆応募締切等： **各講座の開始1週間前**〔**演習講座(1～5)**は、受講許可の選考を行います。〕

◆申込・問い合わせ先： 二松学舎大学 東アジア学術総合研究所 日本漢文教育研究推進室 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14
TEL: 03-3261-3535 Fax: 03-3261-3536 e-mail: eastasia@nishogakusha-u.ac.jp URL: http://www.nishogakusha-u.ac.jp/eastasia/

講座名	内容	講師	所属	期間・時限等	募集人員
1 漢籍書誌学	漢籍の目録作成と解題執筆を通じて、漢籍書誌学の基本を学習する。実物を手に取り、版面の比較、調査カードの記入など、実践的な演習を行う。	高山 節也	本学文学部 教授	火曜日 6時限	募集を締め 切りました
2 古文書解読講座	江戸～明治期の儒者・医者など、漢字漢文に素養のある人々の、書簡・日記・書幅などの肉筆資料を中心に読解していく。一般に漢籍と違って、国書では書写資料の占める割合が非常に高く、ことに江戸～明治期の漢詩漢文は、同好者間に小部数流通したケースが多く、この分野を扱う以上、書写資料の読解は避けて通れない。多くの資料に触れて、当時の書体・用字・用語に習熟して欲しい。	町 泉寿郎	本学文学部 教授	火曜日 7時限	募集を締め 切りました
3 鴨長明の研究	鴨長明の全作品を通して、彼の文学活動に迫る。長明については、随筆『方丈記』、説話集『無名抄』、家集『鴨長明集』等、多くの作品が遺っており、それらを通して彼の信仰と文学、芸術に迫っていく。具体的には、その作品の分析、語彙の研究に重点を置き、それらを『鴨長明研究事典』(仮称)にまとめ上げていく。その研究には、先行する漢文作品の研究も当然含まれることになるから、中国学専攻の院生も歓迎する。	磯 水絵	本学文学部 教授	水曜日 2時限	募集を締め 切りました
4 近世随筆の研究	江戸期には、中国明清文人の影響もあって、随筆が数多く書かれた。内容も異事奇聞の聞書、紀行、人物批評、考証、芸術論といった広い分野にわたる。本講座では、近世随筆の代表作からいくつか記事を選んで読んでいく。作品については、上田秋成・曲亭馬琴の随筆を予定している。	稲田 篤信	本学文学部 特別招聘教授	水曜日 6時限	募集を締め 切りました
5 『国語』の研究	春秋時代の歴史書『国語』を、清朝の学者の残した校勘記、注釈、読書メモ及び近年の研究成果を参照しながら精読する。またそれと並行して、林羅山の道春点本『国語』、関脩齡『国語略説』、秦鼎『国語定本』等も読んでいく。中国古典を現代の訳注や書き下し文だけに頼らず、先人の残した資料や近年の研究成果などを参照しながら読み解く力を身につけることを目的とする。	小方 伴子	本学文学部 教授	月曜日 4時限	募集を締め 切りました

注) 1. 開講時間 = 2時限：10:50～12:20 4時限：14:50～16:20 6時限：18:20～19:50 7時限：20:00～21:30

2. 前期・後期 = 前期：4/11～7/27の15回 後期：9/19～12/21・1/10～1/23の15回

3. 開講日等 = 開講予定日・教室は、講師及び学内行事等の都合で変更する場合があります。

また、夏期休業は 8/6～9/14、冬期休業は 12/26～1/7 です。